







見学コースの最終地点である展望テラスより北アルプスを望む。手前は林相転換した森。

自然景観資源をめぐる連続的な体験(シークエンス)により、天然水への共感を生む

「フィールドジャーニー」

北アルプス恵みの風景と人をつなぐ

■既存地形を活かしたランドスケープ Landscape utilizing existing topography

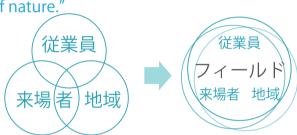
風景との出会いが感動を生み、 記憶に残るトリガーとなる

1...

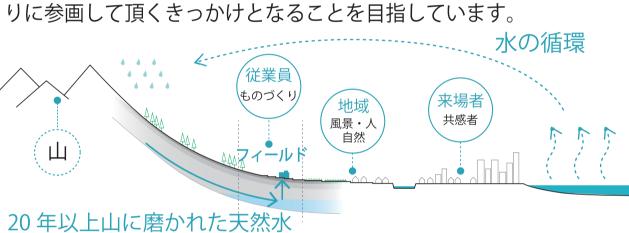
■作品概要 Outline of the work

「自然・水の大切さ」に共感するフィールド A field that empathizes with the "importance of nature

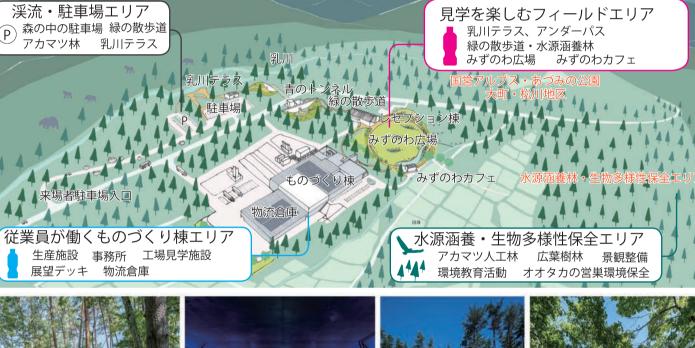
北アルプスの麓、自然豊かな山々に 磨かれた天然水を製造する工場。 CO2排出量実質ゼロ、製造における



徹底的な省水・水循環再利用、工場 でくみ上げる地下水の2倍以上の水を生み出す森づくり等の環境的取組 み、徹底した品質管理を行い、貴重な自然の恵みの価値を磨いていま す。この豊かな自然と水の循環を守る天然水のストーリーを来場者に 共感してもらうカスタマージャーニーを来場者へ提供すると共に、従 業員や地域の人々を含めひとりひとりが水の大切さを自覚し、水をま もる循環に共感することで、人と水の未来へ続く持続可能な社会づく



We aim to provide visitors with a customer journey that allows them to empathize with the story of natural water that preserves the rich nature and water cycle, and to become an opportunity to participate in the creation of a sustainable society that lasts into the future of people and water.







経路と建築、「線の体験」と「点の体験」が重なることで、風景との印象的な出会い、感動を通し、天然水のストーリーに共感することのできる体験を訪れる人に提供する

■地産材利用 Use of local materials

①**敷地内間伐材**を内装材、家具、カフェ躯体、木チップ舗装として活かす

カフェ棟躯体



内装壁材

長野県産材 CO2 固定量認証制度により CO2

ヒノキ・スギは県内産材を県内で製材、乾燥、

レセプション棟架構

③掘り取り苗の再植樹による敷地植生の保存と活用

②県産木材の活用

固定量 52.75t-CO2

加工することで、搬送

に起因するカーボン排

出を最小限化、地域の

林業の活性化。







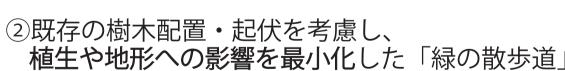


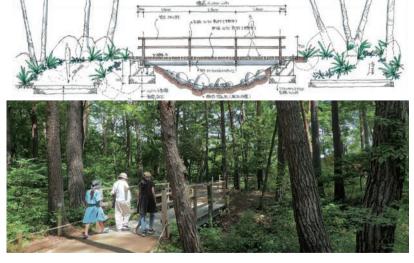
パーテーション

以前の休耕田とアカマツ林の航空写真



■評価表(自己評価)







■目標景観に向けた維持管理・運営

Maintenance and operation for target landscapes

園路沿いの既存落葉広葉樹や希少種の保全のため、マーキングによる選択的な下 刈り作業を行い、目標景観の実現に向けた維持管理を実施。

近接する国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)と連携し、水源涵養林を 守る「天然水の森」活動や、子どもたちのための水と自然の環境学習支援プログ





天然水を製造する工場と、水源洒養・環境保全の森、来場 者に体験を提供するフィールドの3つの機能が高い次元で 共存できている。 工事着工前に敷地内の希少種などの苗を振り取り、團場 育苗し、敷地林内に再植樹するなど、地域資源の最大活 用を図る取組を多数実施している。 CO2排出実質 0 工場とあわせて、来場者フィールドでは軒 下や既存樹の木陰などを活かし快適な外部空間を整備す るとともに、広場を流れる小川は隣接する水路の水を引き込 み、下流で水路に戻すことでエネルギーや新たな水を使われ い水景を実現している。 林相転換のための伐採材、工事中に発生した転石の活用、隣接する水路の水を引き込み下流で返す水景など、敷 地内外の資源を最大限活用し、新たな資源消費を抑える 工事を持っている。 →大を行っている。 近接する国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)と 連携し、水源洒養林を守る「天然水の森」活動や、そどもよのための水と自然の環境学習支援プログラム「水育(みずいく)」により、次世代へ水の大切さを伝える活動の場を ご.社会軸(環 境) 数地内高低差を自然な経路設定により緩勾配の歩きやす 安全な歩道空間とすると共に、高低差の大きい吹抜け部に EEVと階段棟を設け、安全で利便性の高い経路を確保し 15先進性 育苗し、敷地林内に再植樹するなど、地域資源の最大活 甲を図る取組を多数実施している。

着工前の苗掘り取り 圃場での育苗 ④敷地内転石のランドスケープへの利用







林内への再植樹

ヒノキ無垢材







Environmental and Equipment Design Award 2024